

吹田市/熱中症の知識向上を図り、地域の熱中症対応力の底上げによる効果的な熱中症予防の取組

吹田市(環境政策室)

一般社団法人コミュニケーションデザイン機構

一般社団法人環境情報科学センター

①熱中症警戒アラート発表時に備えた対応の体制

熱中症警戒アラートが発表時、LINEやメールにて各部署が情報を受け取る体制



②高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信

- ・健康増進イベント等でのチラシ配布、市報での啓発
- ・プラットフォーム会議開催。地域の団体等との情報交換
- ・市施設等への啓発ツール提供

◆庁内における横断的連絡体制の整備

・吹田市庁内の「環境施策調整推進会議」での情報共有・評価、外部の専門家等で構成される「吹田市環境審議会」等での審議・評価を受け、施策へ反映。

◆クーリングシェルター及び、地域で活動する団体との協働

・クーリングシェルターの指定・開放等、熱中症対策に関連する地域の団体等との協働について、消防本部、危機管理部局、施設管理部局等と協議。

③活動内容

【高齢者】

- ・ヘルパー・ケアマネージャーなどへの、熱中症予防の啓発。熱中症リスクへの対応力の底上げ。(啓発ツール、講習会)
 - ・ヘルパー・ケアマネージャーなどとワークショップ
- 介護サービスを受ける高齢者の熱中症リスクや極端な暑熱環境時の対応方法について意見交換する。

【スポーツ・部活動を実施する学生】

- ・教育機関のスポーツや部活動などを実施する学生などに対する啓発

【熱中症リスクの評価】

④関係する主体の相関図(想定)

